

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公)

公表: 令和 6年 2月 20日

事業所名 こぼんはうすさくら 浜北教室 保護者等数(児童数)16(18) 回収数15 割合93.75 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	12	3				お散歩の時間を取ったり、体を動かす遊びは屋外で行なうなどして、運動の時間をたっぷり確保しています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	12			3	送迎でお会いしていた先生が見かけなくなる ことあった。子どもからも「今日は先生少なかった」と聞くこともあり、人手不足を感じるこ	職員研修の充実や通常時の相談体制を強化し、若手職員の育成に力を尽くしていきます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	10			5		基本的に玄関以外は段差のない建物の構造となっています。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	15					
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	14			1		集団活動については、同じ活動が続かない様に記録に残し、運動系や創作活動等を偏りなく行なうよう配慮しています。また、心理士によるSSTや日本語教師による言葉の教室も行なっています。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	2	1	9	・イベントなどの内容で、今までそのような機会をあまり聞かない。 ・学校で関わりがあるから、放デイでなくてもいい。	子供同士の遊びの交流はありませんが、事業所として交流させて頂き、毎年、放課後児童クラブ主催の演劇鑑賞会にご招待頂いています。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15					利用者負担等については、ご契約の時にご説明をしております。支援の内容に関しては、個別支援計画の更新時期に面談にてご説明をしております。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15				担任の先生との対応や、お迎えに行った時の他児との関わり等、情報共有してくれているので学校での様子が分かる。 先生との対応等、困った時は相談したい。	学校の先生とは常時、密に連携を取らせて頂いております。必要に応じて、相談支援担当者や医療機関とも連携を図り、保護者の皆様から頂いた相談事項についても対応させて頂いて定期的に個別面談を行わせて頂き、情報の共有
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	3			送迎の際に子どもの様子を教えて頂けるので安心している。	課題の整理を行なわせて頂いたり、突発的に起こった出来事に関しても随時ご相談を受け付けております。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	8	1	1	父母で集まることがあまりない。 講演会も聞くだけで交流することはない。	年1回の講演会を軸に保護者の皆様の日頃のお悩みにあわせて支援を行なわせて頂いております。今後は、保護者様同士の横のつながりについて検討して参ります。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12			3		毎回の送迎時の対面での保護者とお話する機会を大切に考えております。送迎職員にて対応できない場合には、担当の者からご連絡させて頂くようにしております。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	14	1				毎回の送迎時や連絡帳にて、その日のお子様の様子をご報告しております。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	10	3		1	・LINEで行事中の写真が送られて来るのを楽しみにしている。 ・プリントやリムでのお知らせが助かる。	活動概要や行事予定は紙面にて、活動のようについては、LINEのタイムラインにて写真や動画と共に公表しております。
14 個人情報に十分注意しているか	13	2				業務上知りえた内容に関して、他機関との連携が必要な際には、事前に保護者の許可を頂いております。	
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	13			2	訓練の定期開催や窓開けなど、しっかりされていると思う。	各マニュアルの策定や更新を随時行っております。保護者の皆様には紙面にて教室の対応についてお知らせをしております。また、避難訓練時には保護者の皆様にも緊急時の連絡訓練
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14			1	訓練の定期開催や窓開けなど、しっかりされていると思う。	年間4回以上の利用者様との避難訓練の他、職員のための訓練や防災関連の研修にも積極的に参加しております。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	14	1			通所したら楽しいようですが、のんびりもたくさんしたいそうです。	
	18 事業所の支援に満足しているか	15				学校や家で進まない学習を実施してくれて助かる。	

218 23 2 26

81%

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 2月 20日

事業所名 こばんはうすくら 浜北教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	1	体を動かす活動に関しては、室内では十分なスペースを確保できないため、屋外にて行なっています。	
	2	職員の配置数は適切である	3			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	2		玄関以外に段差のない建物の構造となっています。車身のお預かりがないため、現状不便さはありません。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	3		朝ミーティングで意見交換や情報共有している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3		連絡ノート、送迎時に頂いた意見を反映している。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1		ホームページで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	1	今現在は行っていない。	評価を行なって頂ける外部の協力機関について検討していきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3		定期的に研修会に参加している。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3		集めた情報やミーティングでの情報共有をもとに分析し、計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3		事業所独自のアセスメントツールを現在は使用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3		子どもの実情や課題を踏まえながらプログラムを立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3		担当職員をローテーションして、その日の活動を計画している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3		その時の活動時間に合わせて活動内容を立案している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3		子どもの課題や状況を考えて計画を作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3		毎朝ミーティングを行い、職員全員でその日の活動内容を周知している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3		支援終了後は時間が取れないので、翌朝のミーティングで振り返りを行っている。急を要する場合は、必要に応じて送迎後に話し合っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3		ミーティングで出た内容を日報に記載し、個人情報、個人記録表に様子や出来事を記載している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3		計画変更時期には担当者会議を行っている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	3		基本活動の計画は日々の話し合いの中で決めている。		
関係機関や保護者	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	3		施設長、児発管を中心に子どもに接している職員が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3		下校時刻、年間計画は家庭を通して情報共有している。連絡調整も、必要に応じて家庭に連絡したり、学校と連携している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	1	該当ケースなし。	医ケア児の受け入れは今のところありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2		相談支援事業所と連携し、情報共有している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	1	該当ケースなし。	教室の開所からの年数が8年なので、高校卒業や就労の年齢に達する利用者が今のところいませんでしたが、今後、その年れに達する利用者が出てきた際には積極的に移行支援を行なっていきます。

日との連携	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3		出来る限り研修に参加している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	2	他教室との交流を現在は行っている。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	1		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3		連絡ノートや送迎時に保護者との連携を密にしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	2		日々の対応の中で、助言や、情報共有している。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3		見学時、契約時に詳しく説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3		悩みや相談を受けた時にはチームで検討し、助言、支援等を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	2	現在は開催していない。	保護者同士の横のつながりについての支援のあり方について、今後は検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3		苦情があった場合はすぐに全職員に周知し、状況の確認、対応の検討を行っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	1	SNSを活用し、情報発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	3		重要書類は鍵付きロッカーに保管し、個人情報の記載のある書類はシュレッダーを使用し、個人情報には十分気をつけている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3		各家庭に合わせた対応を心掛けている。	
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2	近隣企業との交流を図っている。	今後は、夏祭り等の行事で地域住民をご招待する等、検討して参ります。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3		各マニュアルを基に、担当者を中心に年ごとに見直し、更新している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3		定期的に様々な災害を想定した訓練を実施している。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3		研修に参加し、職員に共有している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	1	1	子どもの実情を把握し、身体拘束が必要な場合は、どんな時にどのように対応するかを職員間で周知、徹底する。また、個別支援計画に記載し、保護者にも丁寧に説明する。	身体拘束を行っていません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	1	現在は保護者からの情報で対応を共有させてもらっている。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	1	その都度ヒヤリハットを記載し、情報を共有している。		